

2025年度 授業シラバス

科目名	セルフプロデュース	必修 選択	必修	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

タレントとして必要な考え方・力・オーディションの心構え・対策を習得する
また目的意識を明確に、エンターテインメント業界のマインドを植えつけ、業界に出た際の活躍に繋げる。

【到達目標】

オーディション合格・タレントとしての気構え・身構え・心構えを身に着ける。

【教員の略歴】

プロダクションにてタレントマネージャーとして様々なジャンルのタレントを担当。
デビューセンターとしてデビュー系学生の担当の他、マネージャーの経験を活かしタレントマネージャーコースの授業を受け持つ。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	1年間の流れ・目標設定・新人発掘プレゼンテーション(対策①)	①	合同オーディション(対策①)
②	新人発掘プレゼンテーション オーディション(対策②)	②	キャリア教育
③	キャリア教育	③	企業リサーチとプロダクション実務
④	キャリア教育	④	キャリア教育
⑤	新人発掘プレゼンテーション オーディション (対策③)	⑤	オーディション対策①(自己PR/自由演技/面接)
⑥	キャリア教育	⑥	キャリア教育
⑦	オーディション対策①	⑦	合同オーディション(対策②)
⑧	キャリア教育	⑧	キャリア教育
⑨	新人発掘プレゼンテーション(フィードバックと評価)	⑨	合同オーディション(フィードバックと評価)
⑩	キャリア教育	⑩	キャリア教育
⑪	コンボジ対策①(ポージング・メイク・衣装)	⑪	進路対策
⑫	キャリア教育	⑫	キャリア教育
⑬	オーディション対策②	⑬	レベルチェックテスト
⑭	キャリア教育	⑭	キャリア教育
⑮	レベルチェックテスト	⑮	年間総まとめ
準備学習 時間外学習	常にエンターテインメント業界に触れる事を意識して下さい。 そして日頃から挨拶・人と話すコミュニケーションを意識して下さい。	評価方法	【評価方法】実技試験及び、授業拝聴姿勢を評価とする。 【評価基準】各種能力と試験・レポートを評価とする。 【評価割合】出席率・授業姿勢・実技・テスト
受講生への メッセージ	コロナ禍でエンターテインメント業界も変化を求められています。 今だからこそ若い世代の力が必要です。しっかり現場に必要な知識・ スキルを身につけ即戦力として活躍出来る様に夢を叶えましょう！	使用教科書 教材 参考書	特になし

2025年度 授業シラバス

科目名	コンセプトワーク	必修 選択	必修	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年
<p>【授業の学習内容】 物語の構成を知り、分析力を伸ばすことで演技構成に役立てる。応用力を伸ばす。</p>							
<p>物語の基本的な役作りを習得。 魅力的なキャラクターの制作方法・いかに続きを見たいと思って貰えるにはどうすれば良いのかなどを、実践的に学ぶ。</p>							
<p>【教員の略歴】 劇団にて俳優として数々の作品に出演。その後フリーランスで俳優や演技指導にあたる</p>							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	現状確認/基礎①「物語とプロット」	①	現状確認/プロット制作
②	基礎②「基本構造分析2」	②	アイデアと発展①「資料活用」
③	基礎③「基本構造分析3」	③	アイデアと発展②「資料活用」
④	基礎④「基本構造分析4」	④	応用①「台詞力を磨く」
⑤	キャラクターから物語をつくる①	⑤	応用①「台詞力を磨く」
⑥	キャラクターから物語をつくる②	⑥	応用②「モノログ力を磨く」
⑦	世界観から物語をつくる①	⑦	応用基礎②「モノログ力を磨く」
⑧	世界観から物語をつくる②	⑧	ストーリーから考えるネーム作り方講座
⑨	アイテムから物語をつくる①	⑨	ストーリー表現①
⑩	アイテムから物語をつくる②	⑩	ストーリー表現②
⑪	前期試験(日付で前後)	⑪	後期試験(日付で前後)
⑫	ストーリーから物語をつくる①	⑫	ストーリー表現③
⑬	ストーリーから物語をつくる②	⑬	ストーリー表現④
⑭	基礎⑤「基本構造分析の復習」	⑭	ストーリー表現⑤
⑮	プロット作成(短編)基礎まとめ	⑮	復習、総まとめ
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	しっかりと基礎・応用が理解できたか。出席率・試験
受講生への メッセージ	どんなものでも構わないので時間があれば沢山の作品をみるようにしてください。見る目を養いましょう。	使用教科書 教材 参考書	DVD/Blu-rayなど(既存の作品)

2025年度 授業シラバス

科目名	アクティング演習	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 一年二年時よりも更に踊れるように体幹や柔軟性の強化。							
【到達目標】 ジャズダンスのテクニクを習得し、俳優・ミュージカルアクターとして必要な表現力・技術力を向上させる。							
【教員の略歴】 ダンサー&振付師として活躍。スペイン村・パレード&ショー振付 多数ミュージカル・CM出演、振付を担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	エクササイズ説明1	①	筋肉を意識して動く1
②	エクササイズ説明2	②	筋肉を意識して動く2
③	エクササイズ説明3	③	筋肉を意識して動く3
④	体幹トレーニング1	④	身体の繋がりを意識して1
⑤	体幹トレーニング2	⑤	身体の繋がりを意識して2
⑥	体幹トレーニング3	⑥	身体の繋がりを意識して3
⑦	テクニクを身につける1	⑦	表現力と立体的に動く身体1
⑧	テクニクを身につける2	⑧	表現力と立体的に動く身体2
⑨	テクニクを身につける3	⑨	表現力と立体的に動く身体3
⑩	テクニクを身につける4	⑩	表現力と立体的に動く身体4
⑪	テクニクを身につける5	⑪	表現力と立体的に動く身体5
⑫	スペースを意識して踊る1	⑫	総合1
⑬	スペースを意識して踊る2	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	総合2
⑮	スペースを意識して踊る3	⑮	総合3
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	出席率・授業態度・テスト
受講生への メッセージ	授業で学んだことを自主練習でしっかり身体に落とし込んで 身体の基盤を作ってください。	使用教科書 教材 参考書	特になし

2025年度 授業シラバス

科目名	ヴォーカル&ダンス	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ボーカロイド系楽曲に特化した授業です。ボーカロイドの基本操作、楽曲制作の基礎を学びます。							
【到達目標】 ボーカロイドの操作、打ち込み、多様なコード進行を学び、課題制作に落とし込めるようにする。							
【教員の略歴】 ゲーム音楽を制作し、ゲームアプリのコンテンツに実装されるなどの経歴を持ち、音楽制作、レコーディングスタジオ株式会社FLAREに勤務。avexマネジメント所属アーティストMafuのシングル「unstereo」、同所属オリックスパッファローズ公式ダンスボーカルグループBs Girls等、様々なアーティスト、TVCMの楽曲をプロデュースしている。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ボーカロイドの基礎知識(楽曲の変遷、ボーカロイドの種類、特徴)	①	前期課題総評、前期復習
②	ボーカロイドの基礎知識(初期設定、各画面、ピアノロールの説明)	②	ボカロの応用操作を使った打ち込み(無声音、E.V.E.C、ピッチカーブ)
③	ボーカロイドを使った基礎的なメロディ打ち込み操作、書き出し	③	応用操作を使った打ち込み実践
④	ボカロ楽曲を作るための基礎音楽理論1(音階、キー、メジャーとマイナー)	④	ボカロ楽曲を作るための基礎音楽理論2(コード理論、基礎的なメロディの乗せ方)
⑤	ボカロの為のDAW基礎知識(テンポの変更、オケトラックの配置、プラグインの概念、piapro studioとの同期操)	⑤	DAWでのインストゥルメント読み込み、トラック追加操作、ピアノロール打ち込み
⑥	piapro studio/パラメータ操作(consonant rate、ビブラート、ダイナミクス)	⑥	DAW上でのコードとメロディの打ち込み、Piapro studioへの共有
⑦	パラメータ操作を使った打ち込み実践	⑦	楽曲の聴き方、ボカロ楽曲にみられる編成、構成の分析
⑧	piapro studio/パラメータ操作(gender、プレス、Voice Voltage)	⑧	ポップス音楽の楽器の基礎的な知識、打ち込み方
⑨	パラメータ操作を使った打ち込み実践	⑨	基礎的なオケ打ち込み実践
⑩	英語ライブラリを使った英語打ち込みのやり方、日本語ライブラリとの比較	⑩	既存楽曲分析2
⑪	追加トラックの作成、ハモリトラックの打ち込み	⑪	ミックス基礎知識1(基礎的なエフェクトの使い方)
⑫	DAWの基礎ミックス知識(フェーダー、パン、ミックスダウン)	⑫	ミックス基礎知識2、課題制作に向けた楽曲の計画立て
⑬	課題楽曲ボカロ打ち込み(第1回)	⑬	課題曲制作(第一回)
⑭	課題楽曲ボカロ打ち込み(第2回)	⑭	課題曲制作(第二回)
⑮	課題楽曲ボカロ打ち込み、提出(第3回)	⑮	課題曲制作、提出(第三回)
準備学習 時間外学習	講義時間内に完成しなかった項目は終わらせておいてください	評価方法	授業に対する参加度、課題への取り組み、制作課題の評価
受講生への メッセージ	ボーカロイド系楽曲制作に特化した授業です。難しいコード進行や、複雑な楽曲アレンジを習得するためには毎時間出席してみることが大切です。わからないことはそのままにせず、必ず質問してください	使用教科書 教材 参考書	講義の内容に応じて必要な場合はPDFテキストを配布

2025年度 授業シラバス

科目名	メイク&スタイリング	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 オーダーのスタイルを作ることができるスタイリスト							
【到達目標】 ヘア基礎技術習得・応用ヘアの対応							
【教員の略歴】 イベントなどでのタレントへのメイクや、その他ホテル婚礼全般 一般サロン ヘアメイク着付などを手掛けている							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	前年度復習	①	前期復習
②	似合わせメンズ	②	模写 洋①
③	子供アレンジ	③	模写 洋②
④	年代別アレンジ 10～20代	④	模写 和①
⑤	年代別アレンジ 30～40代	⑤	模写 和②
⑥	巻き下ろし・ハーフアップ	⑥	巻き下ろし・ハーフアップ
⑦	ハーフアップ・三つ編み・編み込み	⑦	ハーフアップ・ポニーテール
⑧	似合わせ 洋①	⑧	成人式ヘア①
⑨	似合わせ 洋②	⑨	成人式ヘア②
⑩	似合わせ 和①	⑩	成人式ヘア③
⑪	似合わせ 和②	⑪	卒業式ヘア①
⑫	七五三 洋アレンジ	⑫	試験対策
⑬	七五三 和アレンジ	⑬	試験
⑭	試験対策	⑭	試験フォロー・課題克服
⑮	試験	⑮	卒業式ヘア②
準備学習 時間外学習	オーダーされたスタイルを自分でイメージする	評価方法	実技試験・授業態度・出席率
受講生への メッセージ	人任せにせず社会人になる準備・責任と自覚を持って行動する	使用教科書 教材 参考書	ウィック・クランプ・コーム・ブラシセット・ゴム・ ホットカーラー・アイロン・毛タボ・筆記用具

2025年度 授業シラバス

科目名	パフォーマンスベーシック	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

1着付け(男女浴衣)2礼儀作法 3日本舞踊基礎 4三味線音楽概要 5男女の踊り分け 6扇子の扱い方 7日本舞踊の歴史

【到達目標】

着物の着付けが一通り自分で出来る事や、和装の際の美しい所作立ち振る舞いが出来るようになる事は勿論、芝居や演技で参考になる役柄による動きや袂等の着物の使い方の知識、それに付随する日本古来の考え方や文化・歴史を一通り身につけてもらいます。舞台やテレビ等の現場で即戦力になる人材を育成することを目指します。

【教員の略歴】

平成11年西川流名取。平成13年師範職取得。日本舞踊家西川鯉矢の元で内弟子修行。
公益社団法人日本舞踊協会主催「舞踊の会」「浪花の会」「新春舞踊大会」、国立文楽劇場主催「舞踊・邦楽鑑賞会」等出演。朝日生命ホールにて「矢右衛門会」主催。
近鉄文化サロン講師、北新地芸妓衆指導の他、役者・パフォーマー向けの講座を各地でしている。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	着付け、礼儀作法、日本文化についての説明、基本動作前半、首・肩・足の使い方、着物のたたみ方	①	基本動作、「助六」恋の夜桜～向かふづらおさらい、吉原花魁について、蓬莱発表練習2
②	着付け、礼儀作法、基本動作前半おさらい、体の左右と重心軸、三味線音楽概要	②	基本動作、「助六」ただは通さぬ～屋形船、西洋文化の流入と芝居の近代化、蓬莱発表練習3
③	着付け、礼儀作法、基本動作後半、袖・袂の使い方、体幹の使い方、男の足の割り方、長唄について	③	基本動作、「助六」ただは通さぬ～屋形船おさらい、シネマの登場とレコード芸者、蓬莱発表練習4
④	着付け、礼儀作法、基本動作後半のおさらい、臍・腰・肘の使い方、丹田と気の下、「蓬莱」について	④	基本動作、「助六」こりや又～風情なり、敗戦とブロードウェイミュージカル、蓬莱発表練習5
⑤	基本動作、扇子の使い方、「蓬莱」頭～伊達模様、神仙思想と陰陽和合について	⑤	基本動作、「助六」こりや又～風情なりおさらい、芸能文化の多用化と日本舞踊、蓬莱発表練習6
⑥	基本動作、「蓬莱」頭～伊達模様おさらい、舞と踊りの違い、基本発表練習1	⑥	基本動作、「助六」全体おさらい、蓬莱発表練習7
⑦	基本動作、「蓬莱」着つつ～そよ風や、要返し、神話の中の俳優と宮中儀式、発表練習2	⑦	「蓬莱」「助六」おさらい、助六発表練習1
⑧	基本動作、「蓬莱」着つつ～そよ風やおさらい、巫女舞と猿楽、基本発表練習3	⑧	「蓬莱」「助六」おさらい、助六発表練習2
⑨	基本動作、「蓬莱」うらみて～恋の山、遊び女・傀儡・白拍子、基本発表練習4	⑨	「蓬莱」「助六」おさらい、助六発表練習3
⑩	基本動作、「蓬莱」うらみて～恋の山おさらい、様々な民間芸能、基本発表練習5	⑩	「蓬莱」「助六」おさらい、助六発表練習4
⑪	基本動作、「蓬莱」全体おさらい、大和猿楽から能へ、基本発表練習6	⑪	「蓬莱」「助六」おさらい、助六発表練習5
⑫	基本動作、「蓬莱」全体おさらい、出雲お国と遊女歌舞伎、基本発表練習7	⑫	「蓬莱」「助六」おさらい、助六発表練習6、試験希望提出
⑬	基本動作試験に向けて、人形浄瑠璃・歌舞伎・遊廊	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	「蓬莱」「助六」おさらい、助六発表練習7
⑮	基本動作、「助六」恋の夜桜～向かふづら、勝扇子事件について、蓬莱発表練習1	⑮	舞踊鑑賞、様々な所作、演技で使える雑学
準備学習 時間外学習	準備学習としては特に無し。自宅等での着付けの練習や授業のおさらいは必要です。	評価方法	出席率・授業態度・実技試験(前期試験は基本動作、後期試験は蓬莱と助六のうちの希望による選択)
受講生への メッセージ	本カリキュラムは実際にプロの役者さん等に指導する際のもので、皆さんが舞台やテレビ等の現場で即戦力になれるように構成しています。長い歴史を持つ日本文化を限られた時間内で全て会得することは難しいですが、日々興味を持って習熟していただくことを望んでいます。	使用教科書 教材 参考書	1浴衣 2帯 3腰ひも 4足袋 5下着

2025年度 授業シラバス

科目名	ムービーテクニク	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】

脚本分析、様々なシチュエーションや心情、撮影に合わせて、「なぜ」を追求しながら、俳優部としての幅を広げる。同時に個々のセルフプロデュースの構築を行うため、自身での企画も提案してもらおう。「やりたい、なりたい」に真剣に、ガムシヤラに向き合う事。

【到達目標】

俳優部として、映像表現における演技力の向上。自身の持つ経験や知識を最大限に生かし、しっかり作品に向き合う。同時に個々・周囲の視野・目標を高める。各回における演技WSや撮影作品の映像が各自のPR、オーディションなどに繋がる武器として活用できるように目指す。

【教員の略歴】

映画「Sin Clock」(窪塚洋介主演/牧賢治監督)や「メンドウな人々」(片岡千之助・的場浩司主演)などの助監督を務める。池田エライザ監督作品「夏、至るころ」(倉悠貴主演)ではアシスタントプロデューサー、今年公開映画ではプロデューサーを担当。映画「ソレダケ that's it」(石井岳龍監督/染谷将太主演)ではコミック作画も手掛け、監督作品として「未熟エッグバンクハーモニー」や新作映画「脳内BEAM」がある。また映画表現のみならず、MVディレクションやアーティストとして活動し、今年には初個展「脳内BEAM」を開催している

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	オリエンテーション / 今後について(卒業制作に向けて)	①	自主企画制作①「例:感情」企画プレゼン・班分け
②	映画制作について / セルフプロデュース / 企画の考案(面談含む)	②	自主企画制作①「例:感情」準備(シナリオ、ロケ申請)
③	<PR映像制作①(20秒)>撮影「伝えたい事」(1人芝居)	③	自主企画制作①「例:感情」実演・撮影
④	<PR映像制作②(20秒)>「なりたい役」シナリオ・衣装案・演技プランの考案(1人芝居)	④	演技WS⑤「テーマ:〇〇」※受講生全員
⑤	<PR映像制作②(20秒)>撮影「なりたい役」	⑤	演技WS⑥「テーマ:〇〇」※受講生全員
⑥	<短編映画制作①> スタッフ顔合わせ・読合せ・衣装合わせ ※映画ドラマ制作Ⅱ・映画ドラマ制作コース2年生と合同)	⑥	演技WS⑦「テーマ:〇〇」※受講生全員
⑦	<短編映画制作①> 演技プラン	⑦	自主企画制作② 衣装
⑧	<短編映画制作①> 撮影週間① 画ドラマ制作Ⅱ・映画ドラマ制作コース2年生と合同) ※映	⑧	最終撮影企画 準備 (ここまでの中でやってきた内容のブラッシュアップ作品)
⑨	<短編映画制作①> 撮影週間② 画ドラマ制作Ⅱ・映画ドラマ制作コース2年生と合同) ※映	⑨	最終撮影企画 準備(衣装合わせ)
⑩	振り返り	⑩	最終撮影企画 準備(ロケハン)
⑪	演技WS①「テーマ:心情など」※受講生全員	⑪	最終撮影企画 撮影
⑫	演技WS②「テーマ:場所など」※受講生全員	⑫	最終撮影企画 撮影
⑬	イメージする～衣装・場所・美術について/既存の作品の再現	⑬	最終撮影企画 編集・SE作成
⑭	演技WS③ 即興芝居 ※様々なシチュエーション	⑭	最終撮影企画 最終レポート・自己PRの構築
⑮	前期のまとめ / 今後について	⑮	出演作品の上映・発表・提出 / 総合まとめ口
準備学習 時間外学習	たくさんの作品をみるようにしましょう。	評価方法	【評価割合】出席率評価60%/授業姿勢評価20%/実技評価20%
受講生への メッセージ	俳優部としてアーティストとして表現し、皆さんだからこそ伝えられる空気や言葉、表現の可能性を最大限に悔いなく演じて欲しいです。そのためにこの授業を利用して下さい。視野を広げましょう。	使用教科書 教材 参考書	授業内で使用する映像や映画、各回に合わせた資料の提示口

2025年度 授業シラバス

科目名	表現演技	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 音楽には様々な作者の意図があり、また、アーティストや音楽ジャンルによって表現したいことは異なります。これらの要素が聴く人に明確に伝わるようにする技術の一つがミキシングです。多様なプラグインエフェクターの理解を深め、ミキシングを基礎から学んでいきます。							
【到達目標】 各楽器の音量や音質、定位を調整して、楽曲の表現したいこと、作詞、作曲、編曲の意図がより良く伝わるようにする。 Cubaseのミキシング機能の理解を深め、ミキサー、イコライザー、コンプレッサー、空間系エフェクター、補正系エフェクター、その他のエフェクターなどプラグインの理解を深めて音を自在に調整できるようにする。							
【教員の略歴】 音楽制作、レコーディングスタジオに勤務し、様々なアーティストの楽曲を制作。ドラマへの楽曲提供など楽曲を様々な楽曲をプロデュース。また、PA、レコーディングエンジニアとしても活動している。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	ミックスとは何か？ミックスを意識した音楽の聴き方、分析	①	前期課題のアドバイス、総評、前期講義の復習
②	ミックス前の準備、各楽器、素材の音、録音状態を確認	②	モジュレーション系エフェクト、その他のエフェクトの使用手法、種類を学ぶ
③	Cubaseミキサーの理解1、フェーダーを使用した音量バランスの調整を学ぶ	③	モジュレーション系エフェクトを使用してミキシング
④	Cubaseミキサーの理解2、フェーダーとパンを使用した音量、定位のバランス調整を学ぶ	④	プラグインエフェクトのオートメーション使用手法
⑤	Cubaseミキサーの理解3、インサートエフェクト	⑤	オートメーションを使用してミキシング
⑥	Cubaseミキサーの理解4、AUXエフェクト	⑥	ミックスにおけるボーカル編集1、コンプレッサー、イコライザーの使い方
⑦	イコライザーの使用手法、種類を学ぶ	⑦	ミックスにおけるボーカル編集2、バックコーラスへのコンプレッサー、イコライザーの使い方
⑧	イコライザーを使用してミキシング	⑧	ミックスにおけるボーカル編集3、歌詞を明瞭に聴かせるオートメーションの使用手法
⑨	コンプレッサーの使用手法、種類を学ぶ	⑨	ミックスにおけるボーカル編集4、リバーブ、ディレイ等、空間系エフェクトを使用しボーカルの存在感をコントロール
⑩	コンプレッサーを使用してミキシング	⑩	マスターエフェクトの使用手法、2ミックス書き出しを学ぶ
⑪	リバーブ、ディレイの使用手法、種類を学ぶ	⑪	ボーカル素材を含む課題曲をミックス(第1回)
⑫	リバーブ、ディレイを使用してミキシング	⑫	ボーカル素材を含む課題曲をミックス(第2回)
⑬	音量、パン、インサートエフェクト、AUXエフェクトを使用し課題曲をミックス(第1回)	⑬	ボーカル素材を含む課題曲をミックス(第3回)
⑭	課題曲ミックス(第2回)	⑭	ボーカル素材を含む課題曲をミックス提出(第4回)
⑮	課題曲ミックス提出(第3回)	⑮	課題ミックス試聴会、ミキシングアドバイス
準備学習 時間外学習	講義時間内に完成しなかった項目は終わらせておいてください	評価方法	授業に対しての参加度、課題への取り組み、制作課題の評価試験・出席率
受講生への メッセージ	ミックスには全授業の知識が必要なため、一部を理解できていないとミキシングを理解できなかったことにならないため毎回授業には参加してほしいです	使用教科書 教材 参考書	講義の内容に対して必要な場合はPDFテキストを配布

2025年度 授業シラバス

科目名	パフォーマンス演習	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間Ⅰ部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
音楽には様々なジャンル、カテゴリーがあり、それに合わせた楽器の奏法、フレーズアレンジがあります。現在ではそれらをジャンルレスにミックスさせた音楽が主流となっています。生徒それぞれが自身の得意なジャンルを見つけたり、そこに様々なジャンルのアレンジを加えたり、これまで聴いていなかった音楽に興味を持てたり、音楽制作の幅を広げられる授業です。							
【到達目標】							
様々なコード進行、フレーズアレンジを身につけ、課題制作にしっかり落とし込めるようにする。							
【教員の略歴】							
音楽制作、レコーディングスタジオに勤務し、BIGBANG、May.J、Jasmime、乃木坂46、Bs Girls等、様々なアーティストの楽曲を制作。東京2020オリンピックTVCM「きつと一生ものになる」、ふなっしーが歌う「KANJU」のTVCM、Hulu配信のドラマへの楽曲提供など楽曲を様々な楽曲をプロデュース。また、PA、レコーディングエンジニアとしても活動している。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	譜面、音符の基礎知識	①	前期課題のアドバイス、総評、前期講義の復習
②	楽曲のキー、コード、スケールとは何か?	②	マイナーキーの楽曲を分析し、実際にコード進行を打ち込む
③	メジャーキーの楽曲を分析し、実際にコード進行を打ち込む	③	マイナーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ1(鍵盤楽器編)
④	メジャーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ1(鍵盤楽器編)	④	マイナーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ1(ドラム編)
⑤	メジャーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ1(ドラム編)	⑤	マイナーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ1(ベース編)
⑥	メジャーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ1(ベース編)	⑥	マイナーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ2(鍵盤楽器編)
⑦	メジャーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ2(鍵盤楽器編)	⑦	マイナーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ2(ドラム編)
⑧	メジャーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ2(ドラム編)	⑧	マイナーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ2(ベース編)
⑨	メジャーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ2(ベース編)	⑨	木管楽器譜面の読み方、奏法、打ち込み方を解説
⑩	ギター譜面の読み方、奏法、打ち込み方を解説	⑩	チェロ、ビオラ、バイオリン等、ストリングス譜面の読み方、奏法、打ち込み方を解説
⑪	メジャーキーの様々な楽曲でよく使用されるコード進行、フレーズパターンを学ぶ2(ギター編)	⑪	指定された楽器構成、コード進行を使用し、指定ジャンルの楽曲にアレンジ1(課題)
⑫	指定された楽器構成、コード進行を使用し、指定ジャンルの楽曲にアレンジ1(課題)	⑫	指定された楽器構成、コード進行を使用し、指定ジャンルの楽曲にアレンジ2(課題)
⑬	指定された楽器構成、コード進行を使用し、指定ジャンルの楽曲にアレンジ2(課題)	⑬	指定された楽器構成、コード進行を使用し、指定ジャンルの楽曲にアレンジ3(課題)
⑭	指定された楽器構成、コード進行を使用し、指定ジャンルの楽曲にアレンジ3(課題)	⑭	AI作詞ツールShikakiを使用して歌詞を作成し、Vocaloidに打ち込む
⑮	指定されたコード進行を指定ジャンルの楽曲にアレンジ4(課題提出)	⑮	2ミックスに書き出し、課題提出、視聴会
準備学習 時間外学習	講義時間内に完成しなかった項目は終わらせておいてください	評価方法	授業に対する参加度、課題への取り組み、制作課題の評価
受講生への メッセージ	前期、後期の課題制作に向けてステップを積み上げていく授業になるので、毎時間出席してほしいです。わからないことはそのままにせず、必ず質問してください	使用教科書 教材 参考書	講義の内容に応じて必要な場合はPDFテキストを配布

2025年度 授業シラバス

科目名	ミュージカル演習	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
基本(呼吸 発声 姿勢 共鳴) 歌唱(ソルフェージュ ハーモニー アカベラ リズム感 表現)

【到達目標】
基本をしっかり学びながら、それを歌唱に活かせるようにする

【教員の略歴】
ソロではpops、コーラスではオールジャンルで活動。タレントプロダクションを中心にVo講師として永年指導に携わっている。2001年からBACでの指導を始める。経験を活かし、プロアマ、ジャンル、老若男女問わず指導し、Vo講師育成、後輩講師へのアドバイスも行っている。

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	基本(呼吸 発声 姿勢 共鳴)	①	基本 個人レポーター
②	基本(呼吸 発声 姿勢 共鳴)	②	基本 個人レポーター
③	基本 リズムトレーニング	③	基本 全員でハーモニー作り(課題)
④	基本 リズムトレーニング	④	基本 全員でハーモニー作り(課題)
⑤	基本 リズムトレーニング ソルフェージュ ハーモニー	⑤	基本 全員でハーモニー作り(課題)
⑥	基本 リズムトレーニング ソルフェージュ ハーモニー	⑥	基本 全員でハーモニー作り(課題)
⑦	基本 アカベラ	⑦	基本 個人レポーター
⑧	基本 アカベラ	⑧	基本 個人レポーター
⑨	基本 レポーター(課題)	⑨	基本 個人レポーター
⑩	基本 レポーター(課題)	⑩	基本 個人レポーター
⑪	基本 レポーター(課題)	⑪	基本 個人レポーター 後期試験予告
⑫	基本 レポーター(課題)	⑫	後期試験 個人レポーター
⑬	基本 個人レポーター	⑬	基本 個人レポーター
⑭	基本 個人レポーター 前期試験予告	⑭	基本 発表会
⑮	前期試験 個人レポーター	⑮	基本 発表会
準備学習 時間外学習	授業内容を録音し、学習ポイントを覚え、各自で練習するのは問題ありません	評価方法	課題に対する評価、各自の伸びに対する評価
受講生への メッセージ	各自体調を管理し、80~100%の出席を望みます	使用教科書 教材 参考書	課題に対しては、講師が用意します。個人レポーターは各自で用意。

2025年度 授業シラバス

科目名	映像演習	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ショートドラマの脚本、カット割り、スケジュール(番盤)を作成し、撮影(カメラ・音声・照明)、編集、MA作業までの完パケ作業を行う。							
【到達目標】 脚本、カット割り、役者へのお芝居演出などテレビドラマ制作のノウハウを習得する。 演出プランに応じて変化する撮影機材を理解し、その効果をカット割りに反映できる技術・演出力を身につける。 役者部は、演出チームの作業を学び理解することで自身のクオリティアップを図る。							
【教員の略歴】 制作プロダクション・MBS企画にて、毎日放送を中心に、ドラマ、バラエティ、情報番組、ドキュメント、報道など多数の番組のディレクター、プロデューサーを務める。 現在、映像クリエイターとして、テレビ番組以外にも、ケーブルテレビ、企業プロモーション、自主映画の監督などを務める。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	テレビドラマについて、企画ミーティング、構成・脚本作成	①	撮影③「役者に対して演出プランを明確に指示する」
②	企画構成・脚本・資料制作/ドラマ研究	②	編集・プレビュー
③	照明効果・録音効果チェック	③	企画・台本制作
④	撮影準備「カット割りの作成の仕方学ぶ」	④	撮影準備「カット割りに対応するための機材の選択」
⑤	撮影①「カット割りに準じた撮影の手順」	⑤	撮影④「カット割りごとに必要な機材の選定を行い撮影する」
⑥	撮影①「「カット割りに準じた撮影の手順」	⑥	撮影④「カット割りごとに必要な機材の選定を行い撮影する」
⑦	編集・プレビュー	⑦	編集・プレビュー
⑧	企画・台本制作	⑧	企画・台本制作
⑨	撮影準備「技術打合せの重要性と演技プランの設計」	⑨	企画・台本制作
⑩	撮影②「技術打合せに準じた演技プランの構築」	⑩	撮影準備「演出プランに合わせた選曲・効果音の使い方」
⑪	撮影②「技術打合せに準じた演技プランの構築」	⑪	撮影準備「演出プランに合わせた選曲・効果音の使い方」
⑫	編集・プレビュー	⑫	撮影⑤「編集、MAを考えたカット割りでの撮影の仕方」
⑬	前期反省会/台本・資料制作	⑬	撮影⑤「編集、MAを考えたカット割りでの撮影の仕方」
⑭	撮影準備「役者に対する芝居の構築の仕方学ぶ」	⑭	編集・プレビュー
⑮	撮影③「役者に対して演出プランを明確に指示する」	⑮	後期反省会
準備学習 時間外学習	学校内、学校周辺にロケ撮影の実技	評価方法	出席率、授業への取り組み姿勢、態度、課題の提出状況。
受講生への メッセージ	楽しみながら映像ドラマ演出を制作していきましょう。	使用教科書 教材 参考書	カメラ、モニター、照明器具(バッテリーライト)、三脚等ENG機材一式 台本作成用PC(Win)、編集用PC(mac)

2025年度 授業シラバス

科目名	メイク&スタイリスト演習	必修 選択	選択	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 ヘアメイク、ヘアスタイリング、ファッションコーディネートを実践的に実習で学ぶ。							
【到達目標】 現場に対応できるスキルを身に付ける							
【教員の略歴】 数多くのタレントのヘアメイクを担当							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	現場ワークの説明[仕事の種類・内容・アシスタントワーク]	①	メンズメイク&ヘアスタイリング
②	現場ワークの説明[仕事の種類・内容・アシスタントワーク]	②	タイプ別ヘアメイクアップ① キュート・ナチュラル
③	ヘアスタイリング (ピンワーク セットアップ)	③	タイプ別ヘアメイクアップ① キュート・ナチュラル
④	ヘアスタイリング (ピンワーク セットアップ)	④	タイプ別ヘアメイクアップ② カジュアル・ポップ
⑤	ヘアスタイリング (ヘアアイロン ストレート)	⑤	タイプ別ヘアメイクアップ② カジュアル・ポップ
⑥	ヘアスタイリング (ヘアアイロン カール)	⑥	タイプ別ヘアメイクアップ③ フェミニン・エレガント
⑦	メイクアップ (メイク基礎・ナチュラルメイク)	⑦	タイプ別ヘアメイクアップ③ フェミニン・エレガント
⑧	メイクアップ (メイク基礎・ナチュラルメイク)	⑧	タイプ別ヘアメイクアップ④ クール&モード
⑨	メイクアップ (メイク基礎・ナチュラルメイク)	⑨	タイプ別ヘアメイクアップ④ クール&モード
⑩	メイクアップ (メイク基礎・ナチュラルメイク)	⑩	タイプ別ヘアメイクアップ⑤ 2.5次元メイク
⑪	撮影ワーク ①	⑪	タイプ別ヘアメイクアップ⑤ 2.5次元メイク
⑫	撮影ワーク ②	⑫	タイプ別ヘアメイクアップ⑥ クリエイティブメイク
⑬	撮影ワーク ③	⑬	タイプ別ヘアメイクアップ⑥ クリエイティブメイク
⑭	撮影ワーク ④	⑭	まとめ
⑮	メンズメイク&ヘアスタイリング	⑮	まとめ
準備学習 時間外学習	特になし	評価方法	出席率重視
受講生への メッセージ	夢を叶えるために技術を身に付けながら学校生活を楽しく！	使用教科書 教材 参考書	特になし

2025年度 授業シラバス

科目名	キャリアデザイン	必修 選択	必修	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 (4単位)	開講区分	通年

【授業の学習内容】
 社会人基礎力を養うことを念頭に、座学のみではなく、アクティブラーニングを用い、数多くのワークから心技体で学ぶ。
 また、個人学習のみならず、グループワークで、他者とのコミュニケーションスキルを磨く。

【到達目標】
 前期は、具体的な就活対策を意識し、後期は、就職後をイメージした、ビジネスパーソン必須のビジネスマナー・コミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキル・企画・発想力をグループワークを通して理解する。

【教員の略歴】
 キャリアカウンセラー・国家資格キャリアコンサルタント資格保持者、学生支援経験者、教員免許取得者
 企業・官公庁研修の経験豊富な講師

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	Web就活	①	コミュニケーションスキルアップ' (伝え方)
②	企業研究	②	コミュニケーションスキルアップ' (情報共有)
③	応募書類対策 I	③	ビジネスコミュニケーション
④	応募書類対策 II	④	職場のコミュニケーション(報・連・相)
⑤	応募書類対策 III	⑤	価値観
⑥	面接対策	⑥	チームプロジェクト I
⑦	模擬面接	⑦	チームプロジェクト II
⑧	模擬面接	⑧	チームプロジェクト III
⑨	グループワーク・グループディスカッション	⑨	ロジカルシンキング
⑩	グループワーク・グループディスカッション・プレゼン I	⑩	ビジネスGW・GD・プレゼンテーション
⑪	グループワーク・グループディスカッション・アセッサー	⑪	ビジネスプレゼンテーション
⑫	グループワーク・グループディスカッション・プレゼン II	⑫	メンタルヘルス
⑬	自己PR プレゼン I	⑬	後期試験
⑭	前期試験	⑭	ポジティブシンキング I
⑮	自己PR プレゼン II	⑮	ポジティブシンキング II
準備学習 時間外学習	各回、次回以降の授業と連携をしているため、欠席(公欠を含む)した際には、その内容をしっかりと予習してから、次回出席のこと。	評価方法	出席率、ワークへの参加姿勢、課題提出率・完成度、臨時および定期試験の成績を総合的に勘案する。
受講生への メッセージ	社会人として即戦力として活躍するために、この授業で、しっかりとスキルを身につけておきましょう。また、毎回の授業は、次回の授業内容と連携しています。欠席した際には、その内容をしっかりと予習してから、出席をするようにしましょう。	使用教科書 教材 参考書	学校指定「キャリアデザイン II」テキスト

2025年度 授業シラバス

科目名	映像・舞台制作	必修 選択	必修	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】							
①舞台・映画やドラマ・ショート映像など、完成映像作品とシナリオを比較検証しながら、それぞれにおけるシナリオ制作の違いと基礎を学ぶ。「小説」とは違い、脚本はそれ単体が「完成品」ではないことを理解し、自らのイメージを実現するための「設計図をつくる力」を身につける。 ②シナリオ創作⇒発表⇒ディスカッションを繰り返すことで、言語化能力・プレゼン能力を養い、現代に求められる「チームでの脚本制作力」を身につける。							
【到達目標】							
学生それぞれが自ら取り組みたいと思える題材を発見し、それを物語(プロット)に落とし込む。その後、舞台・映像それぞれ媒体を選択し、オリジナル作品として長編シナリオを完成させる。							
【教員の略歴】							
俳優として舞台を中心に活動。その後劇団を立ち上げ数多くの脚本を担当。							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	授業の進め方、評価の方法を説明。脚本家の仕事について、教員の略歴を通じて具体的な「なり方」をイメージする。	①	教員著作のフラッシュフィクションを読む①
②	舞台・映画やドラマ・ショート動画のシナリオを見比べ、書式の違いなどを学ぶ。	②	教員著作のフラッシュフィクションを読む②
③	「タイトル」が魅力的な作品を挙げ、その魅力がどこから生まれているものかを分析・検証する。	③	ショートフィルム・ミュージックビデオシナリオ創作①
④	「ログライン」を学び、学生が挙げるいくつかの作品をログラインにまとめ、ストーリーの「ポイント」を発見する。	④	ショートフィルム・ミュージックビデオシナリオ創作②
⑤	映像脚本の3大要素(ト書き、セリフ、柱)について学ぶ。	⑤	映画『バトルキング!! -We'll rise again-』脚本解体①
⑥	魅力的な「登場人物」の創作方法を学ぶ。	⑥	映画『バトルキング!! -We'll rise again-』脚本解体②
⑦	「テーマ」の導き出し方を学ぶ。	⑦	長編作品の題材を見つけ出す。
⑧	「タイトル」「ログライン」「登場人物」「テーマ」を書く。	⑧	「タイトル」「登場人物」「テーマ」などのアイデアを固め、そこから「ログライン」を完成させ、発表する。
⑨	「起承転結」「序破急」「ストーリーサークル」などから、さまざまな物語の「型」を学ぶ。	⑨	長編作品の制作(プロット・企画・プレゼンテーション)プロデューサーに「書いてほしい」と思ってもらうためには?
⑩	「タイトル」「登場人物」「テーマ」などのアイデアを模索する。	⑩	長編作品の制作①(初稿提出⇒フィードバック)
⑪	「タイトル」「登場人物」「テーマ」などのアイデアを固め、そこから「ログライン」を完成させ、発表する。	⑪	長編作品の制作②(再稿提出⇒フィードバック)
⑫	「プロット」を完成させる。プロットを元に、脚本執筆に向けてハコ書き(構成)を学ぶ。	⑫	長編作品の制作③(第3稿提出⇒フィードバック)
⑬	短編シナリオの創作⇒グループディスカッション①	⑬	長編作品の制作④(最終稿提出)
⑭	短編シナリオの創作⇒グループディスカッション②	⑭	完成した脚本を個別に講評する。
⑮	完成した脚本を個別に講評する。	⑮	年間の振り返り
準備学習 時間外学習	適宜「次回授業までに提出」が発生します。	評価方法	試験、出席率、個別の習熟度、授業への取り組み方、提出課題
受講生への メッセージ	基本的にシナリオ制作能力は「書く」ことでしか向上しません。フムフムと話を聞く時間よりも、実践的に手を動かしていただく時間を多く設けたいと思っています。	使用教科書 教材 参考書	自作教材など

2025年度 授業シラバス

科目名	卒業制作	必修 選択	必修	年次	3	学科名	俳優本科 昼間 I 部
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	開講区分	通年
【授業の学習内容】 芝居をする上でのコミュニケーション能力の向上を図るシアターゲーム 台本を使って芝居する事で演技力・表現力を身につける							
【到達目標】 舞台役者としての身構え、気構え、心構えを身に着け、舞台上に立てる役者を育てる。 心得を習得したうえで、We areBACを通し、即戦力となるような舞台人の育成する。							
【教員の略歴】 俳優・お笑い・ラジオDJ・我武者羅応援団などマルチに活動する							

前期		後期	
授業計画・内容		授業計画・内容	
①	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・自己紹介・自己アピールについて考える	①	ミュージカル上演の為のレッスン
②	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・台本『ドラマ台本』芝居に触れ楽しさを学ぶ①	②	読み合わせ①
③	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・台本『ドラマ台本』芝居に触れ楽しさを学ぶ②	③	読み合わせ②
④	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・台本『ドラマ台本』芝居に触れ楽しさを学ぶ③	④	台本シーン抜粋 レベルチェック
⑤	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・エチュード 即興芝居でアドリブ力をつける	⑤	台本シーン抜粋 レベルチェック
⑥	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・台本『アニメ作品』アニメ作品の台本で表現力をUPさせる①	⑥	キャスティングオーディション
⑦	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・台本『アニメ作品』アニメ作品の台本で表現力をUPさせる②	⑦	荒立ち稽古①
⑧	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・台本『アニメ作品』アニメ作品の台本で表現力をUPさせる③	⑧	荒立ち稽古②
⑨	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・台本『舞台作品』映像演技と舞台演技の違いを学ぶ①	⑨	立ち稽古①
⑩	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・台本『舞台作品』映像演技と舞台演技の違いを学ぶ②	⑩	立ち稽古②
⑪	シアターゲーム(ウォーミングアップ)・台本『舞台作品』映像演技と舞台演技の違いを学ぶ③	⑪	通しリハーサル①
⑫	夏休みの課題発表『好きな作品のコピー』	⑫	通しリハーサル②
⑬	座学『キャラクターの作り方』	⑬	本番
⑭	総まとめ。本番に向けて自己演出力・表現力・コミュニケーション能力を鍛える	⑭	反省
⑮	前期試験課題『好きな作品のシーンを完全再現』	⑮	総評
準備学習 時間外学習	授業前にしっかり発声・柔軟運動等アップをして準備をした上で授業に臨んでください。	評価方法	出席率、授業態度、スキル
受講生への メッセージ	とにかく休まない事が大事。 みんなの本気を楽しみにしています。	使用教科書 教材 参考書	台本(授業内で配布)